

平成21年12月25日

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 つくば市立今鹿島小学校

担当教諭名 中山 仁子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成21年12月9日(水) 13:15 ~ 14:00
対象学年と人数	1~6年 140名
派遣講師名と出身国	・辺 家勝(中国) ・具 恩智(韓国)
コーディネーター	・矢島れい子
活動の内容	辺さん ・自己紹介 ・文化・民族の紹介 ・中国のゲーム 具さん ・自己紹介 ・日本語とハングル語の共通点 ・韓国の食べ物 ・クイズ形式のゲーム
生徒・保護者等参加者の感想	・中国は日本とのつながりが多いから、文化や遊びも似ている点があることがわかった。 ・中国のお手玉投げつけという遊びは日本のドッジボールとにているが、ボールではなくてお手玉なので受けるのが難しかった。 ・韓国の言葉に日本語と似ている言葉があって、おもしろかった。 ・韓国のじゃんけんの仕方を教えてもらったり、お金を見せてもらったりして楽しかった。 (児童)
先生の感想	・児童に説明する内容をプロジェクターを使って大きく映しながら説明してくれたため、児童にわかりやすかった。中国・韓国どちらも、まず国旗を見せ、場所を地図で示してから説明に入ったため、日本との地理的な関係がわかってよかった。説明だけでは児童が飽きてしまうが、中国のお手玉投げつけというゲームを実際に児童に体験させたり、韓国のじゃんけんを児童と一緒にやったり、お金を見せてくれたりしたため、児童が飽きずに最後まで集中することができた。もう少し時間が長くとればもっとよかったと思う。 (担当教諭)



